



平成26年度 葛巻町町勢功労者等表彰式

功績たたえ晴れの表彰

町勢功労者に4人

平成26年度の町勢功労者等表彰式は11月13日、グリーンテージで行われ、体育、地方自治、産業経済、防災の4分野で町の発展に貢献された4人の方に功労賞、町へ多額の寄付をされた方に感謝状が鈴木重男町長から贈られました。

功労賞（体育功労）



近藤 彰顯さん
(81歳、新町)

昭和63年4月から平成26年3月まで26年間の長きにわたり、町体育協会会長を務められました。この間、県体育協会理事や郡体育協会会長も務めるなど持ち前のリーダーシップで、町はもとより県内の体育振興に多大な貢献をされました。

功労賞（地方自治功労）



觸澤 敏雄さん
(78歳、田部馬淵)

昭和38年2月から現在まで52年間の長きにわたり、町統計調査員を務められています。この間、国勢調査をはじめ、農林業センサスなど各種統計調査に従事するとともに、町民への統計思想の普及と町の発展に多大な貢献をされました。

功労賞（防災功労）



元村 トモさん
(67歳、元木)

昭和56年に町婦人消防協力隊分隊長に就任。副本部長を歴任後、平成14年4月から平成26年3月まで隊長を務められました。この間、町の消防団を献身的に支えるとともに、防火思想の普及と町の防災活動に多大な貢献をされました。

功労賞（産業経済功労）



下道 初男さん
(68歳、上外川)

昭和48年4月から現在まで42年間の長きにわたり、新岩手と牛改良組合葛巻分会や上外川肉牛放牧組合などの和牛改良組織において要職を歴任され、豊富な識見と優れた指導力により、町の産業振興に多大な貢献をされました。

感謝状



上打田内 英樹さん
(60歳、千葉県船橋市)

町勢発展に向けて8月15日、町に100万円を寄付され、町の振興に多大な貢献をされました。上打田内さんは、本町の四日市地区出身で現在、千葉県船橋市を拠点に東京や神奈川などで不動産販売業を展開する朝日ホーム(株)の代表取締役。

瑞宝双光章



消防団活動に尽力
長岡 宏さん(73) =新町=

長岡さんは、昭和41年に町消防団に入団。第2分団長や副団長を歴任後、平成9年から平成25年に退団するまで団長を務められました。この間、県消防協会副会長も務めるなど卓越した指導力と豊富な識見により、町の防災活動に多大な貢献をされました。

昭和51年に田部地区で発生した本町における最大規模の林野火災や平成23年の大雨災害などで不眠不休の防災活動に当たりました。また、団長を務めた16年間に4度の全国消防操法大会出場と上位入賞を果たし、団員の消防技術の向上と士気の高揚に積極的に取り組みました。

瑞宝単光章



保健福祉の向上に尽力
柴田 幸榮さん(70) =新町=

柴田さんは、昭和42年から30年間の長きにわたり、町の保健婦として乳児死亡ゼロ運動や成人病予防、食生活改善に尽力。町民の健康福祉の基礎を築き、町の健康づくりに多大な貢献をされました。

退職後は、町の保健委員や食生活改善推進員として積極的に保健活動に参加。町社会福祉協議会や社会福祉法人誠心会の理事を務めるなど社会福祉の向上にも尽力されています。また、町の社会教育委員・公民館運営審議会の委員として、教育行政にも参画するなど、現在も精力的に活動されています。

congratulations

秋の叙勲

平成26年秋の叙勲の受章者が政府から発表され、公務や公共的な業務に長年従事し功績のあった人に贈られる瑞宝双光章に長年従事し功績のあった人に贈られる瑞宝単光章に前町消防団長の長岡宏さん、同じく瑞宝単光章に元町保健婦長の柴田幸榮さんが輝きました。

県民の交通安全功労者表彰

県交通安全功労者顕彰会（会長・三浦宏岩手日報社会長）主催の第16回県民の交通安全功労者表彰式は11月12日、盛岡市で行われ、町交通指導隊長の緑川猛雄さんが表彰されました。今回の功労者には県内から3人が選ばれ、緑川さんは町内からは初の受賞者となります。

緑川さんは、昭和55年から現在まで34年間の長きにわたり、町交通指導隊長として通学路での定期的な街頭指導や各種交通安全教室を開催するなど、交通安全の意識啓発に尽力されています。平成7年から副隊長、平成15年からは隊長として隊員の指導に率先して取り組むとともに、新任隊員の勧誘を積極的に行うなど、後継者育成にも尽力され、交通事故の防止、減少に貢献されています。



町交通指導隊長
緑川 猛雄さん(64) 田子